

# 平成13年度「家計における教育費負担の実態調査」 アンケート結果の概要

< お問い合わせ先 > 国民生活金融公庫総合研究所 調査課  
電話 03-3270-1361 (内線524)  
担当 本田  
(夜間直通 03-3270-1384)

## 勤務者世帯の年収の減少続き、負担が増す教育費

調査時期	平成13年6月
調査対象	「国の教育ローン」利用世帯
発送件数	11,981件
有効回答数	3,928件(有効回答率32.8%)、うち勤務者世帯2,783件

### ～主な調査結果(勤務者世帯)～

- 1 高校入学から大学卒業までにかかる費用は、1人当たり942万円。  
(本文3、4、5ページ)

進学者1人当たりの進学費用は、大学で95.9万円、高校で50.6万円となった。在学中の子供1人当たりにかかる1年間の費用は、大学で134.6万円、高校で85.8万円となった。

高校入学から大学卒業までにかかる費用は、1人当たり941.5万円(12年度調査988.6万円)となっている。

- 2 世帯の年収の減少続き、負担が増す教育費  
(本文6、7ページ)

世帯全体の年収(12年実績)は、平均で722.2万円(12年度調査746.2万円、11年度調査768.6万円、10年度調査840.0万円)となり、3年連続で前年を下回った。

世帯の年収に対する在学費用(すべての子供にかかる費用の合計)の割合は、33.5%に達している。

- 3 重い自宅外通学の費用負担  
(本文9、10ページ)

自宅外通学者がいる世帯は、回答世帯の41.3%に上り、自宅外通学者1人当たりの仕送り額は、年間121.7万円となっている。

また、自宅外通学を始めるための費用(アパートの敷金や家財道具の購入費など)は、進学者1人当たり47.8万円となっている。

# 家計における教育費負担の実態調査結果について

調査要領、回答世帯の概要

調査結果 - 勤務者世帯について -

< 主な調査結果 >

1 教育費の支出状況

- (1) 進学費用
- (2) 在学費用
- (3) 高校入学から大学卒業までにかかる費用
- (4) 世帯の年収、住宅ローンの負担
- (5) 世帯の年収別にみた在学費用の負担
- (6) 就学状況別にみた在学費用の負担

2 自宅外通学者にかかる費用

- (1) 自宅外通学者数別にみた年間の仕送り額
- (2) 自宅外通学を始めるための費用

3 教育費の捻出方法

用語の解説

## 調査要領、回答世帯の概要

### 1 調査要領

調査対象	： 国の教育ローン」利用世帯
実施時期	： 平成13年6月
発送件数	： 11,981 件
回収数	： 3,928 件 (回収率32.8 %)

#### 「国の教育ローン」の概要

- 利用対象  
 年収が1,210万円（事業所得者は990万円）以内で、  
 下記の学校に入学・在学する子供のいる世帯。
- ・ 高校、高等専門学校
  - ・ 短大、大学、大学院
  - ・ 専修・各種学校、予備校など
  - ・ 海外の学校（高校、短大、大学など）
  - ・ その他職業能力開発校などの教育施設
- 融資額  
 学生・生徒 1 人当たり200万円以内
- 用途
- ・ 進学費用（学校納付金、受験費用など）
  - ・ 在学費用（授業料、アパートの家賃、通学費など）

### 2 回答世帯の概要

(1)主たる家計維持者の職業 (単位 :%、以下同じ)

勤務者	個人事業主	法人経営者	その他
72.5	16.6	8.6	2.3

(2)主たる家計維持者の年齢 (勤務者世帯)

44歳以下	45～49歳	50～54歳	55歳以上	平均
15.9	38.2	37.8	8.1	48.8歳

(3)在学中の子供の数 (勤務者世帯)

1人	2人	3人以上	平均
30.7	49.6	19.7	1.9人

(4)世帯の年収 (平成12年) (勤務者世帯)

200万円未満	200万円以上 400万円未満	400万円以上 600万円未満	600万円以上 800万円未満	800万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上	平均
2.1	7.7	20.1	29.7	25.0	15.4	722.2万円

## 調査結果 - 勤務者世帯について -

### < 主な調査結果 >

教育費の支出状況 - 大学への進学者 1 人当たりの進学費用は96万円 -

13年度における進学者 1 人当たりの進学費用は、大学で95.9万円、高校で50.6万円となった。一方、在学中の子供 1 人当たりにかかる 1 年間の費用（在学費用）は、大学で134.6万円、高校で85.8万円となった。

高校入学から大学卒業までにかかる費用は、1 人当たり941.5万円となった。これを高校卒業後の進学先別にみると、国公立大学に進学した場合が705.0万円、最も高い私立大学理系の場合は1,070.1万円となっている。

世帯の年収 - 前年よりも24万円減少、「主たる家計維持者」の収入が大きく減少 -

世帯の年収（12年実績）は平均で722.2万円となった。12年度調査の746.2万円を24.0万円下回り（11年度調査 768.6万円、10年度調査840.0万円）、3年連続の減少となった。内訳をみると、主たる家計維持者の年収が620.2万円となって12年度調査の641.8万円を21.6万円下回り、世帯の年収が減少した要因となっている。

在学費用の負担 - 在学費用は年収の34%に相当 -

世帯の年収に対する在学費用（すべての子供にかかる費用の合計）の割合は33.5%となり、12年度調査の32.0%を1.5ポイント上回った。年収階級別にみると、年収が高い世帯ほど在学費用は多くなる傾向にあるが、世帯の年収に対する割合は年収が低い世帯になるほど上昇し、200万円以上400万円未満の世帯では55.6%に達する。

自宅外通学者にかかる費用 - 自宅外通学者 1 人当たりの仕送り額は年間122万円 -

自宅外通学者がいる世帯は、回答世帯の41.3%に上る。自宅外通学者 1 人当たりの仕送り額は年間121.7万円（月額10.1万円）、また、自宅外通学を始めるための費用（アパートの敷金や家財道具の購入費など）は47.8万円となっている。

教育費の捻出方法 - 7割が「教育費以外の支出を削っている」 -

教育費の捻出方法をみると、「教育費以外の支出を削っている」、「預貯金や保険などを取り崩している」と回答した世帯が、ともに半数を超える。

削っている支出としては、「衣類の購入費」（62.4%）と回答した世帯が最も多く、以下「旅行・レジャー費」（60.9%）、「食費」（43.4%）、「外食費」（41.2%）と続く。

# 1 教育費の支出状況（勤務者世帯、以下同じ）

## （1）進学費用 - 大学は96万円、高校は51万円 -

進学者1人当たりにかかる進学費用は、大学が95.9万円、短大が75.0万円、専修・各種学校が74.1万円、高校が50.6万円となり、いずれも前年度調査に比べわずかに減少している（図-1）。

私立高校にかかる進学費用は53.8万円で、国公立高校へ進学した場合にかかる費用のおよそ1.3倍になっている（図-2）。大学進学費用は、国公立と私立で大きな差はみられない。国公立大学へ進学した場合も、入学しなかった学校への納付金がかさんでいるためである。

図-1 進学先別にみた進学費用（子供1人当たりの費用）

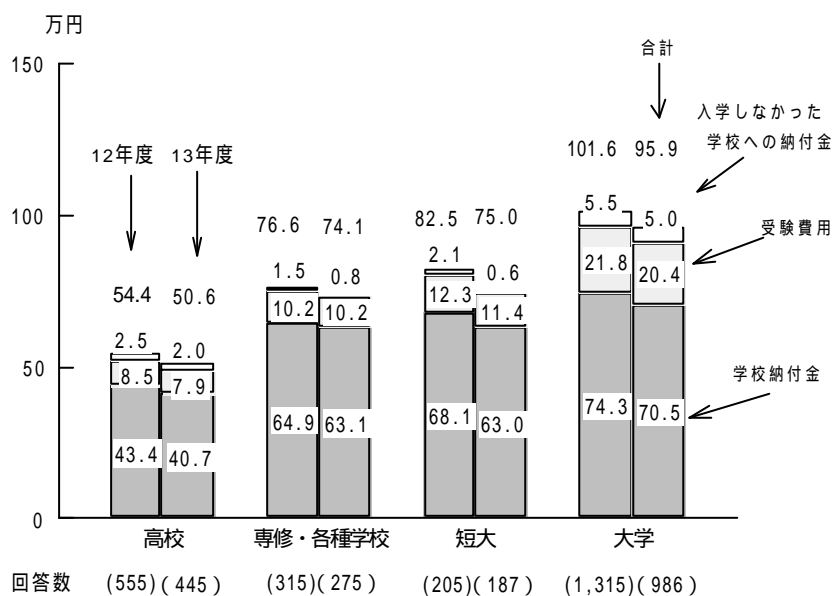
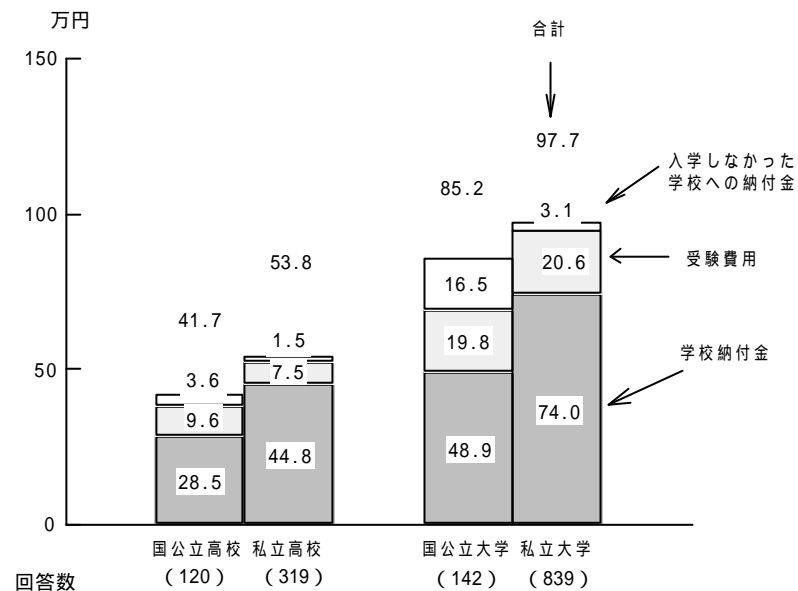


図-2 国公立・私立の別にみた進学費用（子供1人当たりの費用）



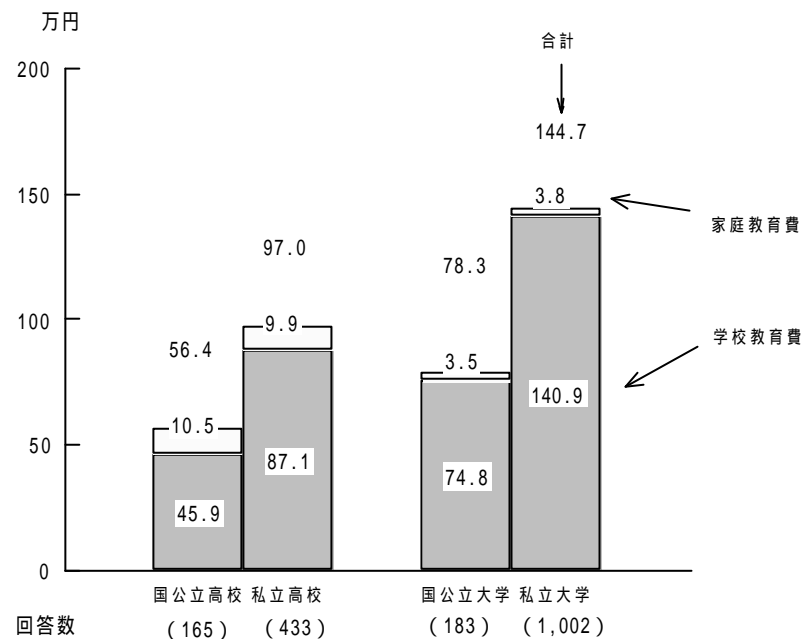
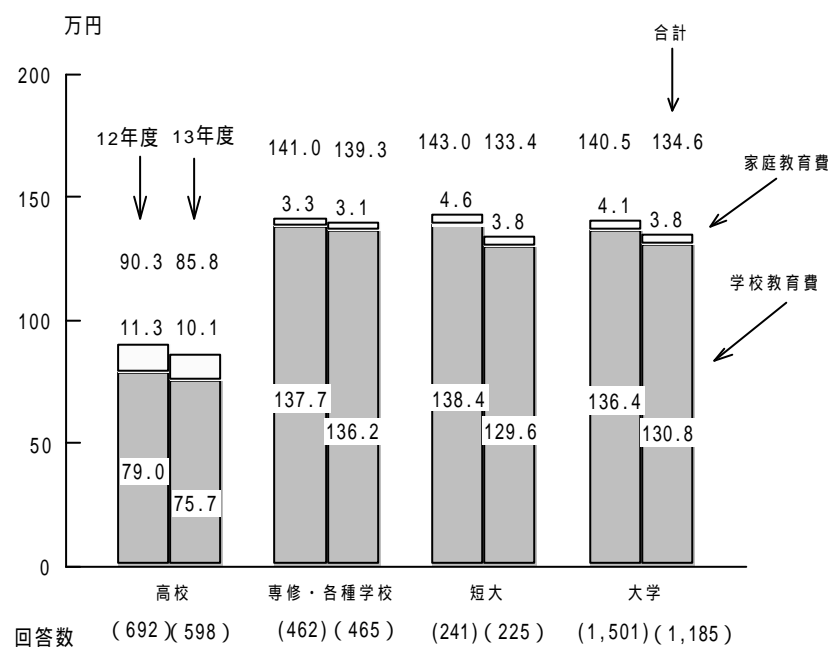
注1：進学費用  
 └─ 受験費用  
 └─ 学校納付金  
 └─ 入学しなかった学校への納付金

注2：進学費用は、12年度における実績（主として13年4月進学）である。

(2) 在学費用 - 大学は年間135万円、高校は86万円 -

在学中の子供1人当たりにかかる1年間の在学費用は大学が134.6万円、短大が133.4万円、専修・各種学校が139.3万円、高校が85.8万円となっている(図-3)。  
 私立大学に進学した場合、1年間の在学費用は国公立大学のおよそ1.8倍になっており、在学費用については私立大学と国公立大学の格差は大きい(図-4)。

図-3 在学先別にみた1年間の在学費用(子供1人当たりの費用) 図-4 国公立・私立の別にみた在学費用(子供1人当たりの費用)



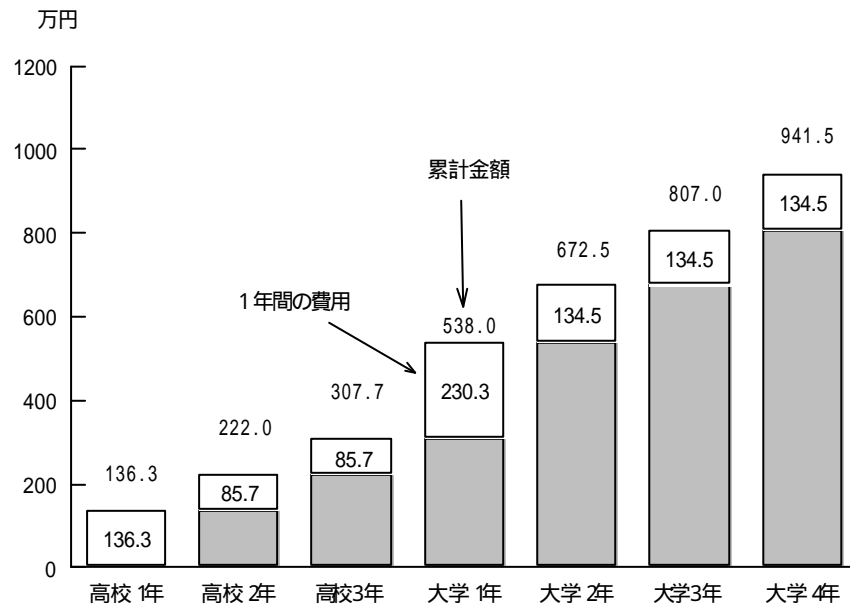
注1: 在学費用  
 — 学校教育費(授業料、通学費、教科書代など)  
 — 家庭教育費(塾の月謝、おけいこごとの費用など)

注2: 在学費用は、13年度における見込額である。

(3) 高校入学から大学卒業までにかかる費用 - 子供1人当たり942万円 -

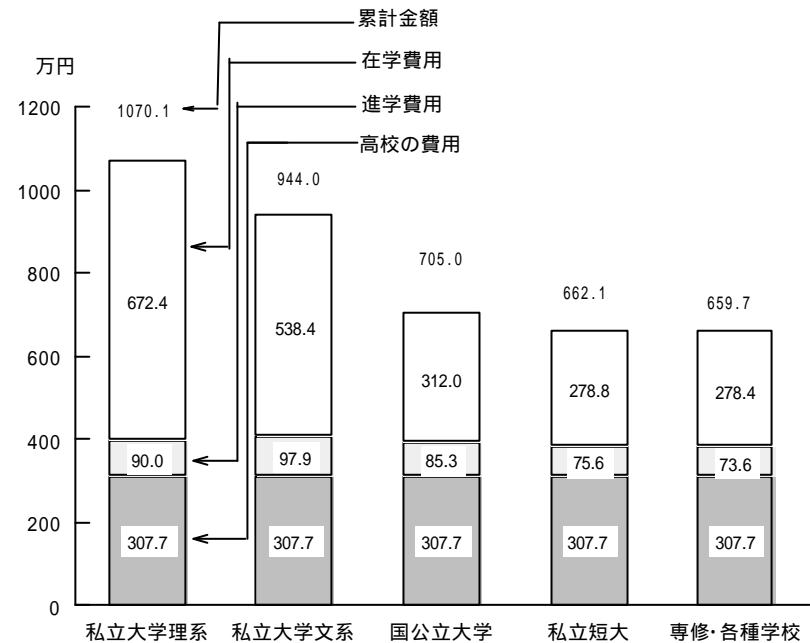
13年度調査の進学費用と在学費用を累計すると、子供1人当たりにかかる費用は高校3年間で307.7万円となる(図-5)。大学に進学した場合、進学費用と4年間の在学費用633.8万円が加わり、合計では941.5万円となる。高校卒業後の進学先別にみると、私立大学に進学した場合の累計費用は理系で1,070.1万円、文系で944.0万円となっている(図-6)。また、私立短大、専門・各種学校に進学した場合の費用は、国公立大学とほぼ同じである。

図-5 大学卒業までにかかる費用  
(子供1人にかかる費用の平均額の累計)



注1: 内は、各学年における1年間の費用である。  
2: 高校1年、大学1年の費用には、進学費用が含まれる。

図-6 高校卒業後の進学先別にみた卒業までにかかる費用  
(子供1人にかかる費用の平均額の累計)

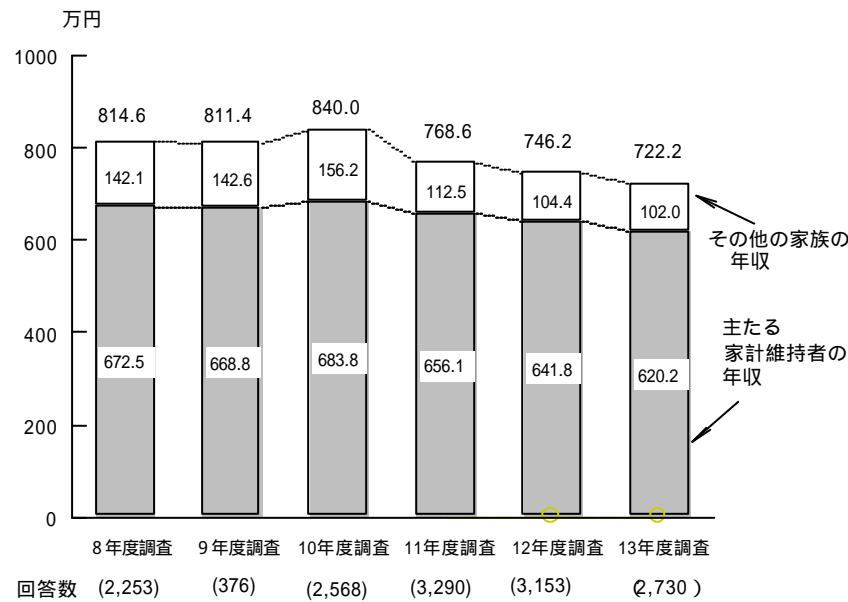


注1: 高校の費用は、国公立・私立を合わせた全体の平均である。  
2: 高校の費用には、進学費用も含まれる。

(4) 世帯の年収、住宅ローンの負担 - 世帯の年収は722万円、住宅ローンの返済額は年間119万円 -

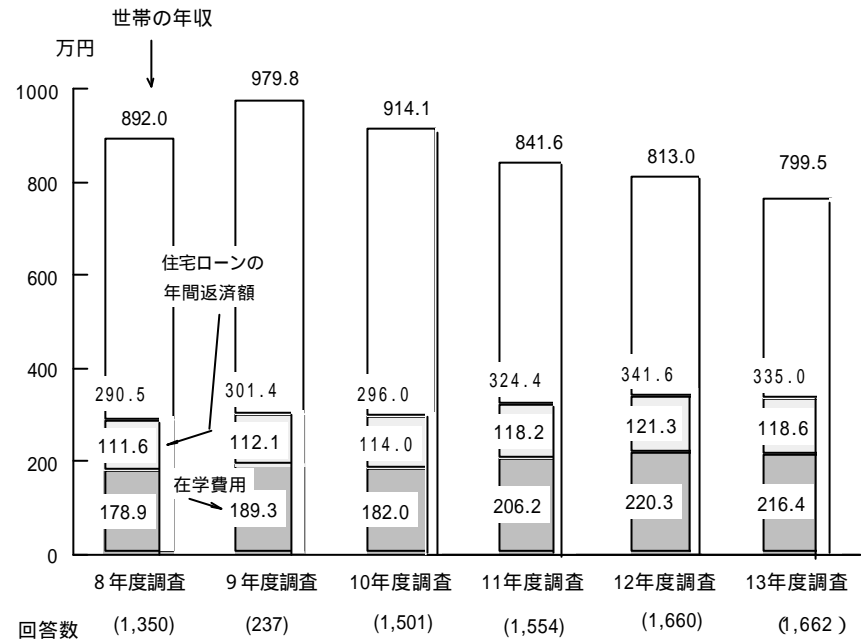
世帯全体の年収は平均722.2万円となり、11年度調査から3年連続で前年度を下回った(図-7)。内訳をみると、主たる家計維持者の年収が620.2万円、その他の家族の年収が102.0万円となっている。  
住宅ローンのある世帯は勤務者世帯全体の63.0%を占め、1年間に平均118.6万円を返済している(図-8)。これに、すべての子供にかかる年間の在学費用216.4万円を加えると335.0万円となっている。

図-7 世帯の年収



注：年収は、当該年度の前年(1~12月)の実績である。

図-8 住宅ローンの年間返済額と在学費用の負担 (住宅ローンのある世帯)



注：在学費用は回答のあったすべての世帯について、小学生以上の子供全員にかかる年間在学費用を平均したものである。



(5) 世帯の年収別に見た在学費用の負担 - 世帯の年収に対する在学費用の割合は34% -

世帯の年収に対する在学費用（すべての子供にかかる費用の合計）の割合は、平均33.5%となり、12年度調査の32.0%を1.5ポイント上回った（図-9）。  
 年収階級別に見ると、年収が高い世帯ほど、在学費用は多くなる傾向にある（図-10）。一方、年収が低い世帯ほど在学費用の負担は重くなり、200万円以上400万円未満の世帯では世帯の年収の55.6%に達している。

図-9 世帯の年収に対する在学費用の割合  
 （すべての子供にかかる在学費用）

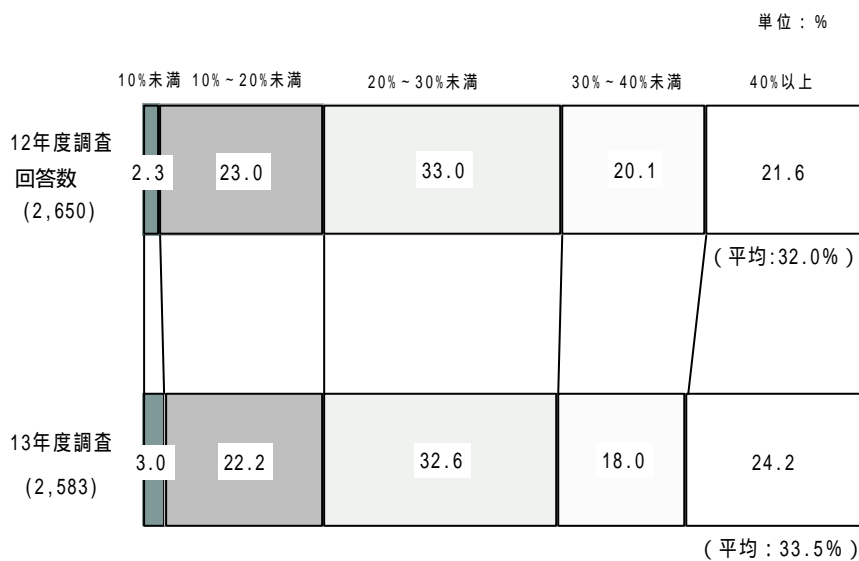
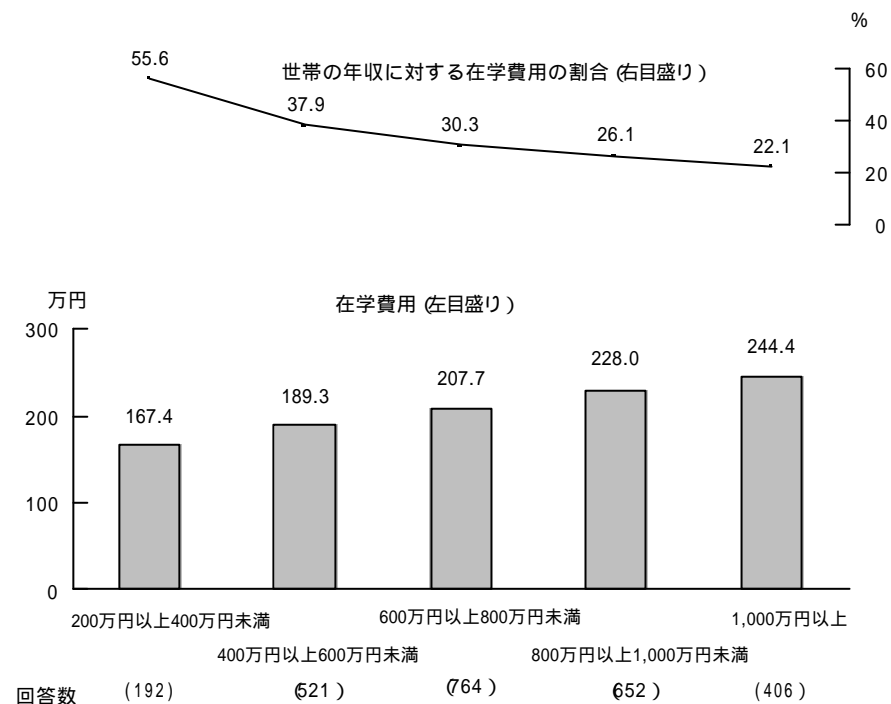


図-10 年収階級別に見た世帯の年収に対する在学費用の割合  
 （すべての子供にかかる在学費用）



注：世帯の年収が200万円未満の世帯については、サンプル数(48)が少ないため省略した。

(6) 就学状況別にみた在学費用の負担 - 在学中の子供が2人いる標準的世帯の在学費用は年間226万円 -

子供の数は2人の世帯が最も多く、全体の54.6%となっている(図-11)。小学校以上に在学中の子供の数も、2人の世帯が49.6%と最も多く、平均1.9人となった。  
 子供が2人で、2人とも在学している標準的な世帯をみると、年収は平均723.4万円、1年間の在学費用は平均225.7万円となっている(図-12)。

図-11 子供の数と在学中の子供の数  
 (世帯数で見た割合)  
 子供の数

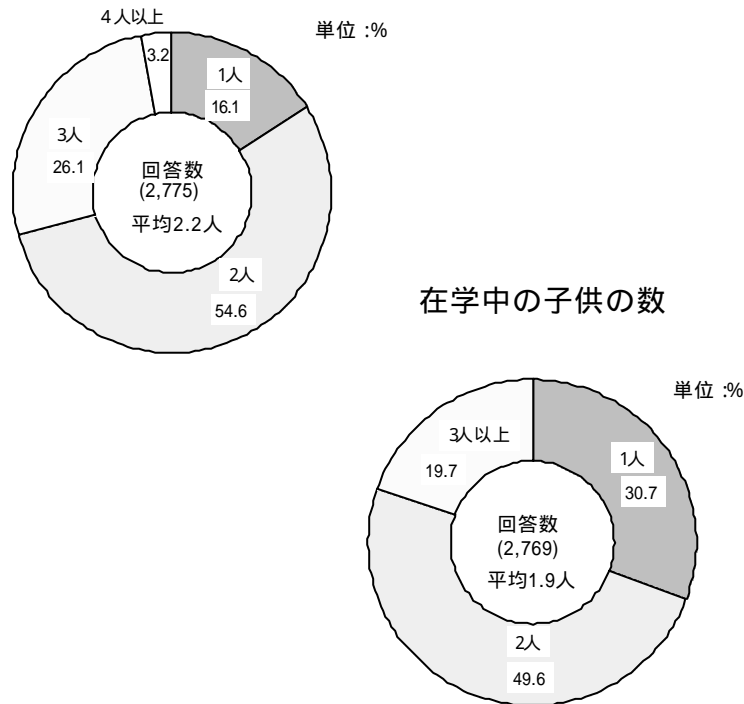
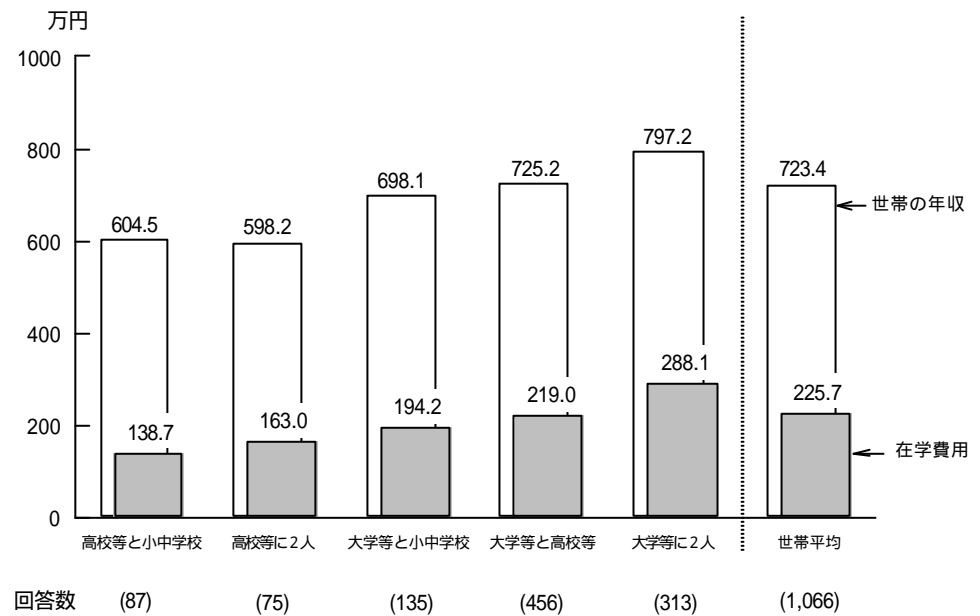


図-12 就学状況別にみた在学費用  
 (子供が2人で、2人とも在学中の世帯)



注：高校等とは高校および高等専門学校である。  
 大学等とは大学院、大学、短大、各種・専修学校および予備校である。

## 2 自宅外通学者にかかる費用

(1) 自宅外通学者数別にみた年間の仕送り額 - 自宅外通学者1人当たりの仕送り額は年間122万円 -

自宅外通学者のいる世帯は、全体の41.3%を占める(図-13)。  
 自宅外通学者1人当たりの仕送り額は年間121.7万円(月額10.1万円)で、家計にとって大きな負担となっている(図-14)。

図-13 自宅外通学者別にみた世帯数の割合

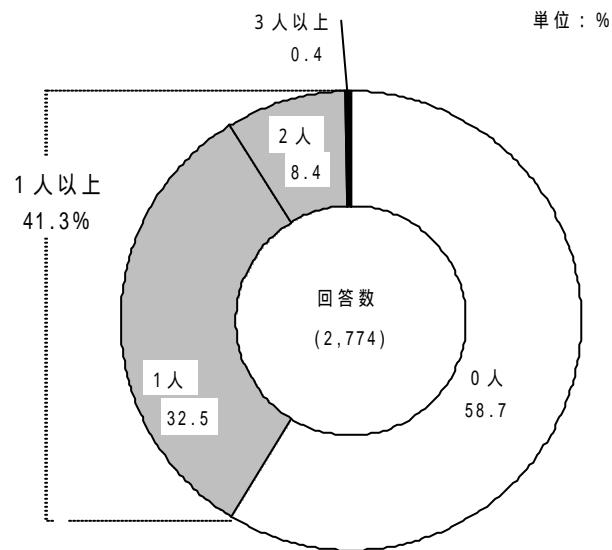
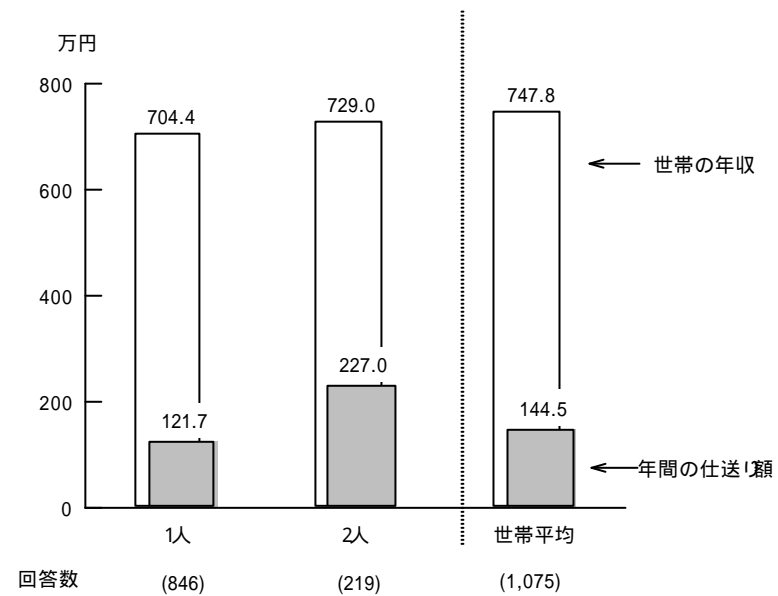


図-14 自宅外通学者数別にみた年間の仕送り額 (自宅外通学者のいる世帯)

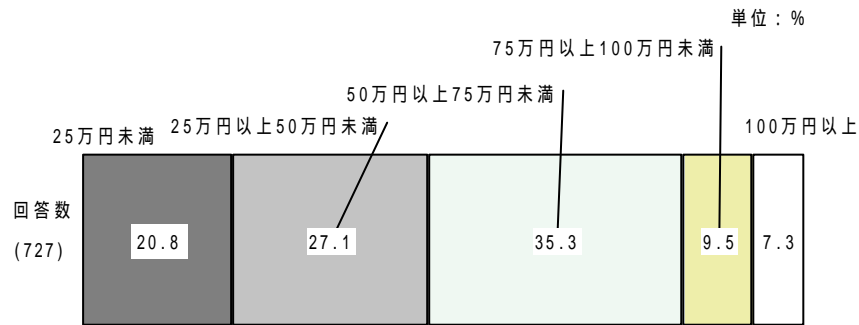


注：自宅外通学者が3人以上の世帯は、サンプル数(10)が少ないため省略した。

(2) 自宅外通学を始めるための費用 - 進学者1人当たり48万円 -

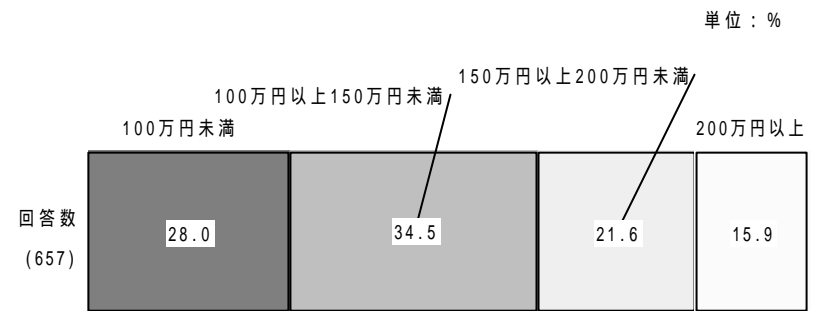
自宅外通学を始めるための費用（アパートの敷金や家財道具の購入費など）は、進学者1人当たり平均47.8万円となっている（図-15）。  
 進学費用と自宅外通学を始めるための費用の合計は進学者1人当たり平均137.3万円となった（図-16）。

図-15 自宅外通学を始めるための費用  
 （進学者1人当たりの費用）



(平均：47.8万円)

図-16 進学費用と自宅外通学を始めるための費用  
 （進学者1人当たりの費用）



(平均：137.3万円)

注：平成13年4月の進学時に自宅外通学を始めるためにかかった  
 アパートの敷金、家財道具の購入費などの合計である。

### 3 教育費の捻出方法 - 節約と預貯金の取り崩しで教育費を捻出 -

教育費の捻出方法については、「教育費以外の支出を削っている」、「預貯金や保険などを取り崩している」と回答した世帯が、ともに半数を超えている（図 - 17）。

節約している支出としては、「衣類の購入費」（62.4%）と回答した世帯が最も多く、以下「旅行・レジャー費」（60.9%）、「食費」（43.4%）、「外食費」（41.2%）と続く（図 - 18）。

図 - 17 教育費の捻出方法  
（三つまでの複数回答）

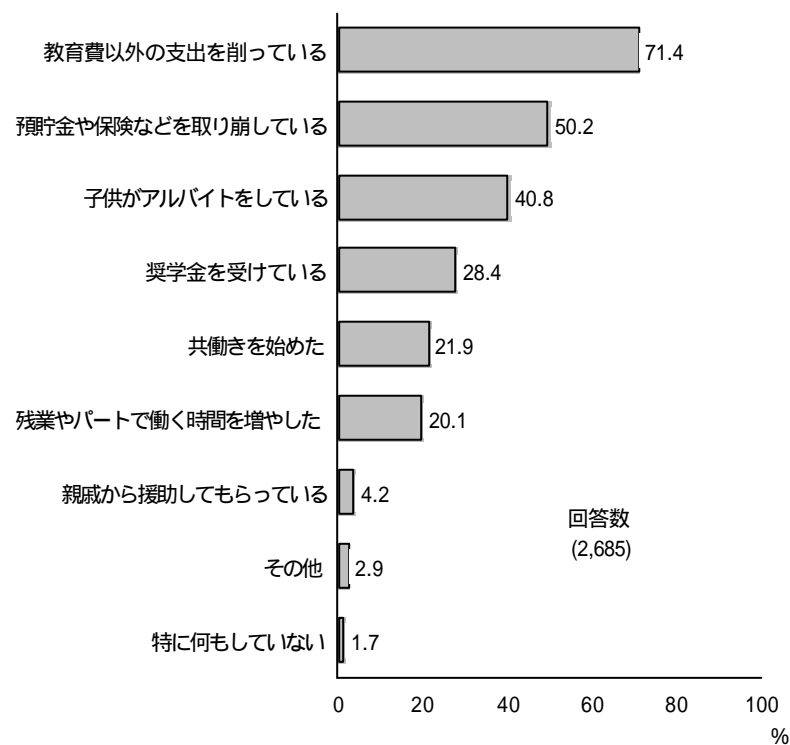
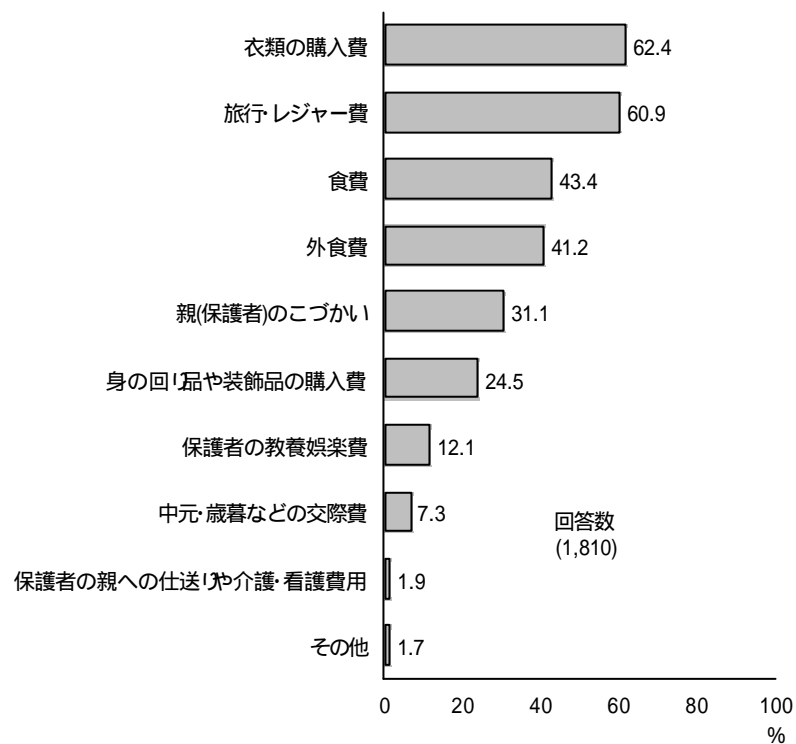


図 - 18 節約している支出  
（三つまでの複数回答）

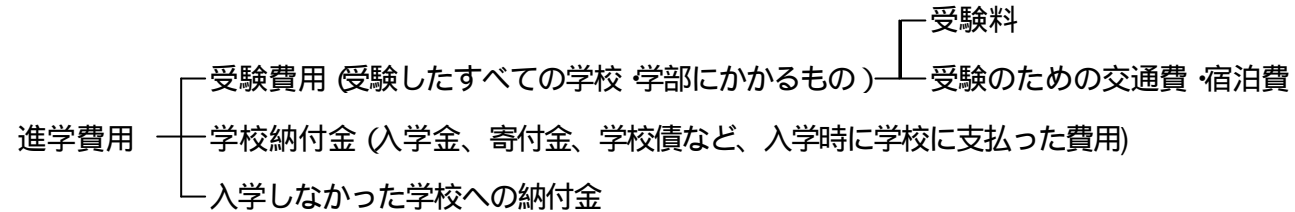


注：図-17で「教育費以外の支出を削っている」と回答したサンプルに対する設問。

## 用語の解説

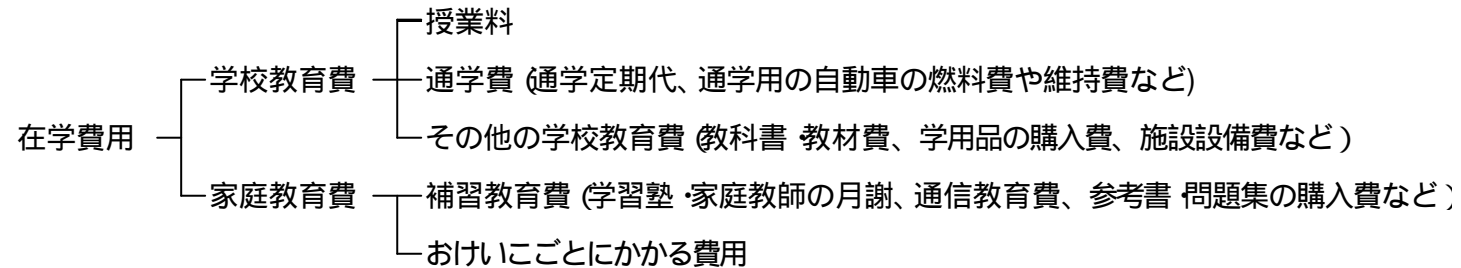
### 1 進学費用

平成13年 4月に高校以上の学校へ進学するためにかかった費用



### 2 在学費用

平成13年 4月から平成14年 3月までの1年間に、小学校以上の学校に在学中の子供にかかる費用の見込み額



### 3 自宅外通学者にかかる費用

(1) 年間の仕送り額 (ただし、授業料分は除く)

(2) 自宅外通学を始めるための費用 (アパートの敷金・礼金、家財道具の購入費など)